

(2) 健康長寿社会づくり

- ・2060年に本県の地域社会の活力を維持する活動人口を確保するため、平均寿命の伸び率（全国：男4.8%、女4.7%）を上回る率での健康寿命の延伸を図り、元気高齢者の増加を目指す。

〔数値目標〕 『健康寿命：5年間（2015～2019年度）で男女とも1歳の延伸』

〔基本的な考え方〕

- ・一人ひとりが生き生きと暮らせる健康長寿社会の実現に向けて、健康寿命を延ばす総合的な健康づくりの取組が重要になる。
- ・高齢化率が上昇するなか、個人の生きがいづくりだけでなく、地域社会の活力向上の観点からも、意欲ある元気高齢者の社会参加を促す必要がある。
- ・併せて、高齢者がいつまでも地域で暮らしていけるよう、医療、介護、疾病・介護予防、住まい、生活等の分野にわたる地域ぐるみの支援体制を構築する。

① 平均寿命、健康寿命の延伸

本県の平均寿命と健康寿命は、男女とも2010年と比して2015年は伸びており、平均寿命と健康寿命の差、いわゆる不健康な期間には、変動が見られない。

平均寿命、健康寿命のさらなる延伸には、健康づくりに関する個人の主体的な取組の推進、社会全体として健康づくりを支える体制の充実などが求められる。また、がん等生活習慣病の予防、歯及び口腔の健康づくり、こころの健康づくりを総合的に推進する必要がある。

【図表2 県算定値：平均寿命と健康寿命】

兵庫県		平均寿命①	健康寿命②	差(①-②)
2015 (ア)	男性	81.06	79.62	1.44
	女性	87.15	83.96	3.19
2010 (イ)	男性	79.89	78.47	1.42
	女性	86.39	83.19	3.20
伸び (ア-イ)	男性	1.17	1.15	
	女性	0.76	0.77	

※国勢調査、3ヶ年の死亡統計及び介護保険データ（要介護認定2以上の割合）をもとに算出

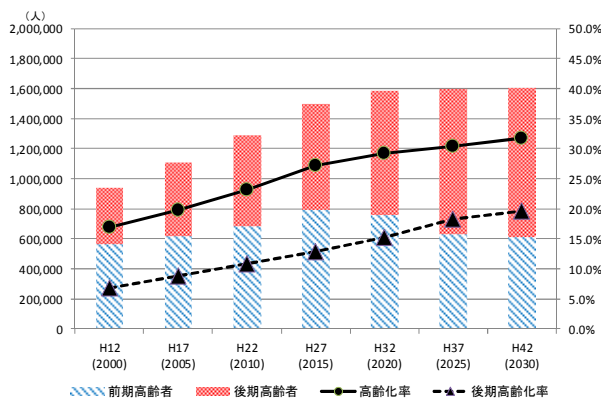
＜取組の方向＞

- ・企業等とも一体となった働き盛り世代からの健康づくり対策の推進
- ・生活習慣病の発症予防と重症化予防の推進
- ・関係団体等と連携したライフステージに対応した歯及び口腔の健康づくりの推進

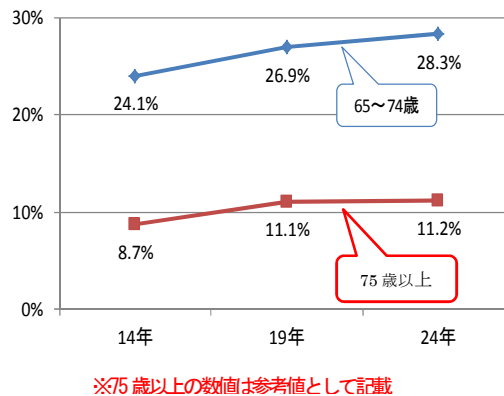
② 元気高齢者の社会参加促進

高齢者数・高齢化率の増加とともに、生きがいや、能力発揮、経済的安定等を理由に働く高齢者の数は増加し、高齢者有業率も徐々に上昇してきている。地域の活力向上の観点からも、元気高齢者が年齢にかかわらず、これまで培った知識・スキル、経験を生かすことのできるしくみの確立が重要になっている。

【図表3 高齢者数と高齢化率の推移（兵庫県）】



【図表4 高齢者の有業率の推移（兵庫県）】



<取組の方向>

- ・ 高齢者の起業、就労支援
- ・ 子育て支援等地域課題の解決で元気高齢者が活躍する仕組みの構築
- ・ 高齢者の生きがいづくりや社会参加機会の提供
- ・ 高齢者が社会参加しやすいユニバーサルなまちづくり

③ 高齢者が安心して暮らせる生活環境の整備

団塊の世代がすべて後期高齢者となる2025年に向け、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援が総合的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が重要になっている。

県では、地域医療構想（平成28年10月策定）に基づく「地域完結型医療」の構築を推進するとともに、市町、民間事業者と連携し、老人福祉施設の整備や介護予防・生活支援サービスの基盤整備、在宅医療・介護連携の推進などの取組を強化していく必要がある。

<取組の方向>

- ・ 市町等と連携した介護予防・生活支援の推進
- ・ 医療機能の分化・連携や在宅医療の充実、医療従事者の確保推進
- ・ 医療、健康、福祉等のサービスを一体的に受けられるまちづくりの推進